

平成19年度 岐阜県高等学校総合体育大会バスケットボール競技
兼東海・全国高等学校総合体育大会岐阜県予選会
3日目:平成19年6月2日(土)
会場:関わかくさプラザ・岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム

男子の部

< 審判 >

Aブロック 決勝	岐阜農林	90	54	美濃加茂	高橋英彦・菅野 浩
		$\begin{bmatrix} 20 - 10 \\ 26 - 14 \\ 23 - 18 \\ 21 - 12 \end{bmatrix}$			
Bブロック 決勝	岐南工	77	75	大垣南	相宮俊郎・山田祐治
					$\begin{bmatrix} 23 - 26 \\ 14 - 12 \\ 22 - 21 \\ 18 - 16 \end{bmatrix}$
Cブロック 決勝	斐太	77	68	中津川工	室谷伸治・棚橋英一
					$\begin{bmatrix} 16 - 14 \\ 25 - 23 \\ 26 - 14 \\ 10 - 17 \end{bmatrix}$
Dブロック 決勝	岐阜総合	83	63	長良	西尾 司・宮崎泰彦
					$\begin{bmatrix} 24 - 16 \\ 6 - 18 \\ 34 - 12 \\ 19 - 17 \end{bmatrix}$
決勝リーグ	岐阜農林 (1勝)	102	59	岐南工 (1敗)	松野瑞穂・三浦 潔
					$\begin{bmatrix} 29 - 15 \\ 23 - 16 \\ 27 - 14 \\ 23 - 14 \end{bmatrix}$

決勝リーグ第1戦。新人戦に優勝し、今大会優勝候補にあげられる岐阜農林と、土岐商、中京、第4シードの大垣南を破り勢いに乗る岐南工の対戦となった。

岐阜農林はハーフコートマンツーマン、岐南工はハーフコート1-3-1のゾーンでスタート。岐阜農林は全員がよく足を動かし、ディナイディフェンスで相手に簡単に前を向かせない。加藤がインターセプトからレイアップシュートを決めれば、古田、伊藤のリバウンドから早い攻撃で古田、木村が次々と得点を重ねる。一方、岐南工は花木、安江が3点シュート、スクリーンからのカッティングにタイミングよくパスを入れ、山田、多田がシュートを決めるが、第1ピリオドは29-15と岐阜農林がリードした。第2ピリオド、岐阜農林は滝沢が3点シュートをこのピリオドで4本決めるなど、点差を21点と広げ前半を52-31で終える。

後半に入り、共にスタートメンバーをほとんど下げ、岐阜農林は小椋が3点シュート3本を含む18得点、今井がリバウンドシュート、加藤がミドルシュートを決める。岐南工は斉藤が小柄な体格ながらもスピード感あふれるプレーでパスをさばき、佐々木、毛利、左高が得点を重ねる。お互い出場した選手がよく頑張ったが、第3ピリオド27-14、第4ピリオド23-14と岐阜農林が実力を見せ、102-59と大差で勝ち、決勝リーグ1勝目をあげた。(井口貢志)

決勝リーグ	岐阜総合	110	$\begin{bmatrix} 22 - 11 \\ 32 - 9 \\ 14 - 23 \\ 42 - 21 \end{bmatrix}$	64	斐太	西尾 司・後藤慎二
	(1勝)				(1敗)	

両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。第1ピリオド、岐阜総合は 原の確実なリバウンドから 田代、長尾のミドルシュートなどが決まり、11点のリードを奪う。さらに第2ピリオドに入ると、岐阜総合はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、激しいプレッシャーからボールを奪うと、長尾、上村、寺井らが次々にシュートを決め、一気に点差を広げ、54 - 24で前半を折り返す。斐太も 杉山、水谷がシュートを決めるが、単発な攻撃に終わる。

第3ピリオドに入っても岐阜総合の勢いは衰えず、岡島、戸崎のミドルシュートで確実に得点をあげていく。第4ピリオドに入り、岐阜総合はベンチメンバーを次々に投入するも、激しいディフェンスは変わらず、速い展開から 伊藤、今村、深尾らが次々とシュートを決め、110 - 64の大差で決勝リーグ1勝目を飾った。斐太も2 - 2 - 1ゾーンプレスをしにかけて、ミスを誘い、水谷の3点シュートや 洞口のミドルシュート、島中のドライブインで反撃するも相手の速さと高さに対抗できなかった。(鈴木雅雄)

女子の部

< 審判 >

Aブロック 決勝	岐阜女子	124	$\begin{bmatrix} 40 - 4 \\ 36 - 4 \\ 24 - 11 \\ 24 - 9 \end{bmatrix}$	28	長 良	三宅浩平・西本容子
Bブロック 決勝	県岐阜商	70	$\begin{bmatrix} 14 - 10 \\ 22 - 9 \\ 24 - 16 \\ 10 - 12 \end{bmatrix}$	47	加茂本郷	角平和優・赤石恵美子
Cブロック 決勝	岐阜総合	82	$\begin{bmatrix} 29 - 13 \\ 23 - 8 \\ 19 - 24 \\ 11 - 14 \end{bmatrix}$	59	多治見西	大江裕之・長屋 貴
Dブロック 決勝	高山西	88	$\begin{bmatrix} 18 - 10 \\ 24 - 3 \\ 26 - 33 \\ 20 - 21 \end{bmatrix}$	67	関 商 工	小森邦弘・神山元秀
決勝リーグ	岐阜女子	115	$\begin{bmatrix} 29 - 10 \\ 28 - 12 \\ 35 - 9 \\ 23 - 13 \end{bmatrix}$	44	県岐阜商	増田博徳・小池匡弥
	(1勝)				(1敗)	

開始直後はお互いに硬さが見られたが、地力に勝る岐阜女子が次第に相手を圧倒する。岐阜女子は 伊藤、水谷のゲームメイクから、茅谷のドライブ、伊藤の3点シュートなどで着実に加点。ゴール下でも、汪が高さを生かしたプレーで活躍した。県岐阜商も 山北のゴール下シュート、佐野、前田のミドルシュートなどで必死に食い下がるが、前半を終わって57 - 22と岐阜女子が大きくリードを奪った。

後半に入っても岐阜女子の勢いは止まらず、プレッシャーディフェンスから相手のボールを奪うと、次々に速攻につなげた。ベンチメンバー全員が出場したが、代わったメンバーもよく速攻に走り、着実に点差を広げていった。結局、パワー、スピード、高さにも勝る岐阜女子が相手を圧倒して大差をつけ、決勝リーグの1勝目をあげた。県岐阜商も必死にボールに食らいついたが及ばなかった。(恩田 司)

決勝リーグ	高山西	77	$\left[\begin{array}{l} 21 - 10 \\ 16 - 27 \\ 25 - 8 \\ 15 - 22 \end{array} \right]$	67	岐阜総合	小泉純子・小牧秀則
	(1勝)				(1敗)	

両チーム、マンツーマンディフェンスでスタートする。序盤高山西は 畦地のリバウンドシュート、 虎井のドライブインなどで11点のリードを奪う。岐阜総合は動きが固く、思うようにシュートが入らない。しかし、第2ピリオドに入ると流れが変わり、岐阜総合はディフェンスの頑張りから安田、 前田、 関谷が3点シュートを決めて、一気に追いつく。その後は一進一退の展開となり、高山西が 畦地のインサイドシュート、 室谷がジャンプシュートを決めれば、岐阜総合も前田が3点シュート、 馬淵がリバウンドシュートを決めて、互いに譲らず、前半は37 - 37の同点で終わる。

第3ピリオドに入ると、高山西はディフェンスのあたりを強め、さらに交代した 朝熊の攻守にわたる活躍で徐々にペースをつかみ、 杉山、 朝熊らが次々とシュートを決め一時は20点のリードを奪う。第4ピリオドに入っても、 畦地がオフェンス、ディフェンスともよくリバウンドをとり、確実に得点につなげる。結局高山西が77 - 67で勝利し、決勝リーグ1勝目を挙げた。岐阜総合は第3ピリオド、相手のディフェンスに苦しみ、得点を奪えなかったものの、第4ピリオドに入ると、 嶋内、 安田、 前田らが意地を見せ、一時は10点差まで詰め寄ったが、追い上げきれなかった。(長屋 貴)